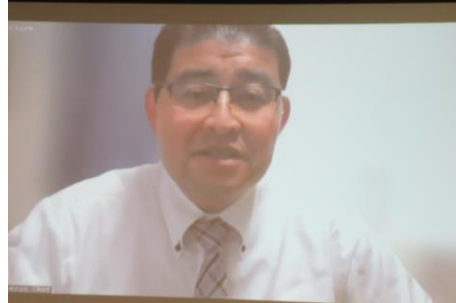


2022年 2月 22日 ACAP

2月22日 大阪例会 報告



四国大学短期大学部 加渡教授のリモート講演風景



アサヒビール 羽鳥氏のリモート講演風景

【日時】 2022年2月22日(火)14:00～16:30

【参加(視聴)人数】 会場参加8名、WEB参加75名

<講演1>

テーマ: 「消費者は見ている！」

～持続可能な社会をつくる消費者と事業者のコミュニケーション～

講師: 加渡 いつみ 氏 (四国大学短期大学部 教授)

要旨: 持続可能な社会を構築するための消費者志向経営と、従前の「お客様は神様です」的経営はどこが違うのか。企業も消費者も行政も、そして多様な地域主体も全員が消費者市民社会の一員である。「これまでの延長線」では考えられない“VUCAの時代”と呼ばれる今、世界の共通言語となっているSDGsの視点から、地域社会における事業者と消費者のコミュニケーションの在り方を講演いただいた。

<講演2>

講師: 羽鳥 敏彦 氏 (アサヒビール株式会社 品質保証部 お客様相談室 担当副部長)

テーマ: 「アサヒグループホールディングスの消費者志向経営の取り組み紹介」

要旨: アサヒグループは、日本・欧州・オセアニア・東南アジアの4つのグローバルヘッドクォーターの下、さまざまな事業を展開。今回は、グループ全体の売上収益の約6割、事業利益の4割以上を占め、創業の地である日本国内にスポットをあて、消費者志向の経営、持続的な企業価値向上、社会的価値向上の実現を目指す取り組みについて講演いただいた。

【所感】 SDGsの認知がますます高まる昨今、社会から求められるサステナブル経営とは何か、またそれを具現化しているアサヒグループホールディングス様の取り組みについて、それぞれの角度から伺うことができ、非常に有意義な講演となった。

会員活動部会